

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成29年度事業 点検・評価調書

5- -7

5-
-7

章	世界遺産を核とした魅力ある地域づくり		取組項目	地場産業の活性化
	節	佐渡金銀山のブランドイメージの確立		
事業(施策)名	7 佐渡産ブランド品開発		事業主体	佐渡連合商工会
	事業実施期間	H28～H34		関連団体
事業概要	【事業目的】 特産品の開発等により、佐渡産ブランドの価値の向上を図る。			
	【事業内容】 特産品の開発や既存商品のブラッシュアップに向けて、関係機関が連携して佐渡金銀山ブランドイメージを活用した戦略的な検討を進める。			
⑳ 事業計画と実績	【29年度計画】 過去開発商品(とき色豆腐・夫婦岩の油揚げ・佐渡ポン酢)のパッケージ変更による市場の反応を調査する。 商談会における商品シートの活用法について研修する場を設置する。 佐渡物産展の定期開催を重点に置いた支援事業を実施する。 商品開発セミナー及び販路開拓バイヤーセミナーを各1回開催する。			
	【29年度実績】 過去開発商品(とき色豆腐・夫婦岩の油揚げ・佐渡ポン酢)のパッケージ変更による市場の反応を調査した。 商談会における商品シートの活用法について研修する場を設置した。(2回) 佐渡物産展の定期開催を重点に置いた支援事業を実施した。(2回) 商品開発セミナー及び販路開拓バイヤーセミナーを各1回開催した。			
課題・今後の取組	【課題】 地場商品のブラッシュアップや販売戦略等、継続して向上を図る必要がある。 佐渡金銀山ブランドイメージ活用に向け、広域への販路拡大のためには事業者自身の意識改革の必要性がある。			
	【今後の取組】 佐渡金銀山ブランドイメージを活用した商品のブラッシュアップ並びに販売戦略策定に向けたセミナーを継続開催する。 新商品の開発を進め、共同開発商品のラインナップの充実を図る。 商談会等へ職員を派遣し、ノウハウを吸収させ指導力の向上を図る。			
事業評価	【事業の達成度】 (a・ b ・c)			
	【事業実施の効果】 (a・ b ・c)			
	【総合評価】 (A・ B ・C)			
		予定した取り組みを実施できたほか、バイヤーとの商談成立に向けた交渉に入るなどの効果が得られたことからB評価とした。		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。